

おいしいお菓子と 笑いあり、涙ありのフォーラムに参加しました。

平成 23 年 10 月 20 日（木）、ホテルニューオータニ大阪で開催されました「レディース中央会全国フォーラム in 大阪」に全国より約 320 名が出席。当レディース中央会からは、10 名が参加しました。



当日行われました事例講演では、「おいしいお菓子をつくりたい」をテーマに、株式会社青木松風庵 代表取締役 青木啓一氏より講演がありました。講演中には、(株)青木松風庵のお菓子も出され、甘いものに目がない女性陣にとって、お話を聞くことができ、味わうこともできるというとてもうれしい講演でした。

講演では、自家製の生餡に誇りを持ち、午前 1 時から製造し、1 日 3 便自社便で配送し、その日のうちに売り切ることを

心がけていることや、店舗数が現在 25 店舗あり、看板の色を統一しているだけで、立地条件等の違いがあるので店舗の装い等は、様々であること、そして、「接客」という言葉は使わず「おもてなし」、「従業員」ではなく「仲間」と表現していることなどの説明がありました。

また、2010 年 9 月 1 日から 1 年間の購入調査を行ったところ、上位 100 人中 31 人が「仲間」であり、働いている女性こそが最大のファンであることがわかったそうです。経営理念の 1 つに、“従業員と家族を大切にする”を掲げていて、“家族の誕生日にはケーキを購入しますが、自分のためには買わない”という話を聞いたこともあって、「仲間」の誕生日には、会社から誕生日ケーキをプレゼントしているそうです。「時代の流れとともにお客様も変化し、お客様の知識も向上しています。お菓子はおいしいだけでは売れないので、素材の良さを全面に打ち出し、安全で衛生的なおいしいお菓子づくりを心がけていきたい。」と話されました。

基調講演では、「できるやんか！人間って欠けているから伸びるんや」をテーマに千房株式会社 代表取締役 中井正嗣氏が講演されました。

7 人兄弟の 5 番目に生まれ、父親を早くに亡くして、多くの苦労を味わったご自身の生い立ちや、社長になってから、高校へ通い、卒業したことも話されました。

そして、外食産業は、従業員とともに私も育つ“共有”産業だと述べ、「お笑いライブは、面白いから笑うんとちゃうねん。声出して笑うから面白くなるんや。」「良くなったら、希望を持つとちゃうねん。希望を持つからようなるんや。」と、「『笑』（しょう）＝『商』に繋がり、『笑』は『勝』繁盛につながる。笑うことがいかに大事か！笑えなくても一度自分の顔見て笑ってみ！心は見えないけど、心遣いや思いやりは見える。心残りはあっても悔いのない人生のために毎日を生きることが大事！」と熱く語りました。

参加したレディースメンバーは、笑いあり、涙ありのこれらの講演に聞き入っていました。